

Identity Formation, Dissolution, and Reorganization in Multiethnic Societies

Toward the Establishment of a Vojvodina Area Studies

多民族社会におけるアイデンティティの形成・分断・再統合 ーヴォイヴォディナ地域研究確立に向けてー

●ヨーロッパにおける共産主義政権の崩壊と民主化は、そこに住む人々の帰属意識にも大きな変化をもたらしてきた。とくに激しい民族対立を経験した旧ユーゴ地域では、セルビア北部のヴォイヴォディナ自治州において、民族的アイデンティティをめぐる運動が再活性化している。

●研究の背景:ただし単独の研究や個別の専門分野内で、ヴォイヴォディナ多民族社会の全体像をカバーすることが困難であることに加え、地域研究の視点からの共同調査の試みも少なく、その現状について十分な研究成果が出されたとは言い難い。

●目的:そこで本企画では、専門とする言語やディシプリンの違いを超えた国際的な意見交換の場を設けることで、(1)ヴォイヴォディナにおける多民族共生をめぐる現状と、その背景としての歴史的・政治的・文化的諸問題を総合的に明らかにするとともに、(2)「ヴォイヴォディナ地域研究」確立のための協力体制を構築することを目指す。

●特色:民族間のヒエラルキー構図が重層的なヴォイヴォディナ多民族社会の錯綜した民族混淆のありようを考察するため、未だ民族としてのステータスが論争段階にある「隠れた」マイノリティ民族に焦点を当てることで、境界的アイデンティティの諸相を包括的に解明する。

●メンバー【五十音順、敬称略】

岡本佳子(東京大・院)、ビリャナ・シキミッチ(セルビア科学芸術アカデミー)、マリア・トドロヴァ(香港浸会大)、西原周子(北海道大・院)、野町素己(北海道大/JCAS加盟組織メンバー・アドバイザー)、三谷恵子(東京大)、山崎信一(東京大)

日時:2014年2月2日(日)

場所:北海道大学東京オフィス

使用言語:英語

主催:地域研究コンソーシアム(JCAS)、北海道大学スラブ研究センター

企画責任者 亀田真澄(日本学術振興会特別研究員PD)